

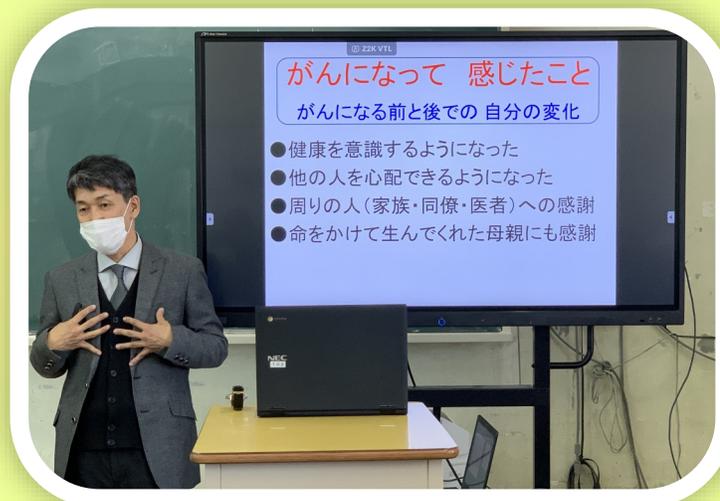
校長講話

- 1 日 時 令和5年2月17日(金)
6時限目 14:25～15:15
- 2 場 所 第1学年各教室(1年3組より各教室へリモート配信)
- 3 参加者 本校生徒 第1学年 280名

総合的な探究の時間の一環で、校長先生の道徳特別授業を実施しました。校長先生のご経験をもとに、「命」についてのご講義でした。

校長先生ご自身の生い立ちが導入でした。がんについての基礎知識をクイズ形式で実施、保健体育の学習についての復習にもなりました。

「命」をどう捉えるか? 「生きる」ってどういうこと? 生徒に問いかけながら授業を進める校長先生の姿が印象的でした。生徒にとって、自分の生き方を改めて考えてみる機会となったようです。



ご自身の経験談がもとになった講話で、校長先生の言葉にも熱が入ります。



校長先生に直接ご講義を受けられる貴重な時間とあって、生徒も校長先生の声に、真剣に耳を傾けていました。

生徒の振り返りアンケートより抜粋

- ・「いのちを大切にすると」か言うけど、まずそのいのちを少し勘違いしていたのではないかと思います。自分に与えられた時間をしっかりとしたいことをして、充実した時間を過ごせるようにしたいと思いました。
- ・いつ自分が病気にかかるかも分からないし、死ぬかも分からないけどどうしたら長く生きれるか、どうすれば後悔のない人生を送れるかを常に考えて生きていきたいなと強く思いました。母と父の両親から授かった大切な命を大切にしていきたいです。